

第4 2回産応協セミナー（旧スーパーコンピューティング・セミナー）開催報告

2018年度第2回目（通算第42回）の産応協セミナー（旧称：スーパーコンピューティング・セミナー）は、「機械学習」をテーマに取上げ、11月28日（水）にワイルド会議室四谷三丁目において開催されました。

当日の参加者は、合計68名（講師5名、一般参加者50名《正会員企業32名、非正会員企業16名、官庁2名》、産応協委員4名、セミナーWGメンバー6名、事務局及び補佐3名）でした。

今回のセミナーのテーマは、10月4日～5日に1泊2日で開催した「産応協スクール（テーマ：機械学習）」の理論版という位置付けで、今注目のAIの基礎固めという点でも非常に関心が高かったと思われます。

また、2019年3月8日～9日に1泊2日で、今回のセミナーで講師をお願いした(株)システム計画研究所の上島氏に再度お願いし、同じテーマで産応協スクールを開催することが決定しております。理論と実習の両面から「機械学習」をしっかりと学ぶ大変良い機会となると思われます。

《プログラム》（講師の方の敬称は省略させていただきます）

- AI・機械学習の現状と展望 ～人に信頼されるAIに向けて～
株式会社富士通研究所人工知能研究所主管研究員 樋口 博之
- 機械学習と実験スクリーニング法による次世代太陽電池材料の開発
大阪大学大学院工学研究科准教授 佐伯 昭紀
- ベクトル型コンピュータ SX-Aurora TSUBASA の機械学習への応用
日本電気株式会社データサイエンス研究所主管研究員 荒木 拓也
- 竹中技術研究所における機械学習の取組みについて
～建物内活動データと現場画像への応用～
株式会社竹中工務店技術研究所先端技術研究部主任研究員 高井 勇志
- AIの実際と道具としての機械学習
株式会社システム計画研究所事業本部第2セグメント・サブマネージャ 上島 仁

